



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第11週報 No. 1994 2017年(平成29年) 9月22日 第1994回 例会記録 9月29日発行

### 本日〈9月29日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「それこそロータリー」「友達になろう」
- ◆ 献立 サーモンとイクラの洋風御膳
- ◆ 卓話 「米山奨学生について」  
川崎マリーンロータリークラブ 米山奨学生  
陳 成姫 様  
(紹介者 田口健太郎 会員)

<< 本日のBGM >>  
アルバム「大人ピアノカフェ」/ 村上ゆき より



PHOTO クラブ会報委員会

**司 会** 金森 欣一 副幹事

**ビジター紹介** 横浜RC 三原 秀治 様

**点 鐘** 矢野 修二 会長

**誕生日祝** 角田 伯雄 会員 (9月22日)

**斉 唱** 「手に手つないで」「友達になろう」  
ソングリーダー：加野 亮一 会員

**四つのテスト** 赤堀 和人 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)



### ゲスト紹介

相沢 一夫 様 (第2590地区 第4 G ガバナー補佐)  
武笠 基和 様 (ゲストスピーカー)

2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：  
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

**例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

**結婚記念日祝**

中野 真理 会員 (9月23日)

**会長報告**

矢野 修二 会長

- 先週の卓話者 鈴木尚広様のサインのオークションにおきまして、14000円集まりました。ニコニコに入れさせて頂きましたのでご報告申し上げます。

**幹事報告**

白鳥 厚夫 幹事

- 本日、例会終了後にガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催致します。また、相沢ガバナー補佐がご持参下さいました戦略計画資料を各テーブルに置いてあります。クラブ協議会にて5分程説明して下さいませ。ご一読願います。
- 10月4日に予定しておりました職場訪問が衆議院議員解散による諸事情により延期となりました。職場訪問につきましては、再度日程調整を行います。また、休会となっていました10月6日の例会を通常例会と致します。点鐘12:30です。お間違えないようよろしくお願い致します。
- 次週、例会終了後に社会奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。大勢の参加をよろしくお願い致します。
- 地区大会ポリオ撲滅チャリティーディナーショーが10月4日18時より横浜ロイヤルパークホテルにて開催されます。参加を希望される方は参加費を添えて事務局へ申し込みをお願いします。締め切り 9月29日(金)
- 先週に引き続き、会員名簿を回覧します。確認をお願い致します。

**出席報告**

山田 正憲 出席委員長

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	38名	(27+11)名	
出席率	86.36%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	87.23%	前々回補正後	91.67%

**スマイルボックス**

森永 健 副SAA

第2590地区第4グループガバナー補佐 相沢一夫様(横浜都筑RC) 本日はクラブ協議会開催の為何いました。矢野会長、白鳥幹事はじめ各委員長の皆様、よろしくお願い致します。

角田伯雄君 ①誕生日祝い、ありがとうございました。②武笠署長、卓話、よろしくお願い致します。

中野真理さん 結婚記念日のお祝いをありがとうございます。

矢野修二君 ①相沢ガバナー補佐、本日のクラブ協議会、よろしくお願い致します。②武笠基和様、本日の卓話、楽しみにしております。③昨日の第一テーブルミーティング、白井マスター、澁谷副マスター、ありがとうございました。楽しいテーブルミーティングでしたね。

吉田隆男君 過日は母の葬儀に関しまして、相沢ガバナー補佐をはじめ多数の会員のご参列を賜り、心より感謝申し上げます。

月山 勇君 昨日の第一テーブルMでは、白井、澁谷正副マスターにはお世話になりました。苦心のテーマは「卓話」素晴らしい・・・そこで茂木先生からの一句、「苦心して 捻り出したは 卓話かな」。以上。

山本 登君 ガバナー補佐、ようこそ。

江森国一君 昨日の第一テーブルミーティングでは、白井さん、澁谷さん、矢野会長はじめ皆様、お世話になりました。

河野明光君 昨日の第一テーブルミーティング、白井・澁谷マスター、ご苦労様でした。

伊東英紀君 武笠さん、本日は卓話よろしくお願い致します。

加藤仁昭君 昨日の第一テーブルミーティング、白井マスター、澁谷副マスター、お世話になりました。お陰で楽しい会となりました。

植田清司君 ①本日は、相沢ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。よろしくご指導くださるようお願い致します。

②昨日の第一テーブルミーティング、テーブルマスターの白井さん、副マスターの澁谷さん、お世話になりました。有意義な会でした。

山田正憲君 相沢ガバナー補佐、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

白鳥厚夫君 ①相沢ガバナー補佐、本日ご指導よろしくお願い致します。②昨夜の第一テーブルミーティングの白井マスター、澁谷副マスター、熱い討論楽しかったです。

澁谷高弘君 ①誕生日祝い、ありがとうございました。72歳となりました。②昨日のテーブルミーティング、多数の会員にご出席頂き、大盛況でした。ありがとうございました。

西山 潔君 ①河野さん、我妻先生、昨日は大変お世話になりました。②相沢様、本日のクラブ協議会、よろしくお願い致します。

天野公史君 昨日のテーブルミーティング、白井マスター、澁谷サブマスター、楽しい時間をありがとうございました。加藤PP、遅くまでありがとうございました。

白井康夫君 昨日の第一テーブルミーティングに参加の皆様、お疲れ様でした。澁谷副マスター、ミーティングのタイミングにつき勉強になりました。田邊さん、二次会ではお世話になりました。

2015-16年度会長 江森国一・幹事 朝日達夫 直前会長・幹事 慰労会に多数ご出席頂き、ありがとうございました。余剰金をニコニコへ入れます。

森永 健君 昨夜のテーブルミーティング、お疲れ様でした。矢野会長、ありがとうございました。

9月22日	20件	82,208円
本年度累計		441,388円

## 「消防職員の自助のカタチ」

横浜市神奈川区消防署長 武笠 基和 様  
(紹介者 角田 伯雄 会員)



東日本大震災以降、自助・共助の重要性が叫ばれていますが、個人で備える自助について皆さんは実践できていますか？ご自身や家族がケガをせず、自宅からの出火を防ぐとともに揺れによる損壊を免れ、一定の避難生活が送れるようにしっかりと準備しておきたいものです。

今日は、大規模地震時に消防署へ駆けつける準備している消防職員（＝私）の自助についてお話しします。

我が家の自助は、一般的な諸準備に加え大きな震災から教訓を学び現在のカタチとなりました。

まず、その原点は阪神・淡路大震災にあります。ご存知のとおり活断層によって震度7を記録した地震ですが、①建物倒壊と家具転倒への重点的な対策、②出火防止と初期消火への取組、③避難生活は自助努力と準備行動、の3点が重要であると学びました。特に、就寝中に無防備になる寝室と危険要因の多い台所の安全対策や電気器具からの出火防止、さらにはローリングストックなどによる避難生活の準備を充実させました。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から得た教訓は、①津波への警戒、②地震後の出火防止、③厳冬期・地震保険・ペットの各対策で、これらの備えに力を入れました。津波に関しては、北上川の津波遡上が50kmにも及んだことを肝に銘ずるとともに、旅行時などにはネット公開されている「海面上昇による洪水マップ」を参考にすることにしています。火災に関しては、停電復旧時の出火危険、ロウソクなど裸火の取扱い、

燃焼器具の再使用時など、避難生活中の出火防止が重要であると再認識させていただきました。さらに、ペットの餌や避難時対応、シュラフ・開放型石油ストーブの準備、地震保険への再加入など、一定の出費もかけて備えを強化しました。

昨年4月に発生した熊本地震では、2回の震度7により多くの建物が倒壊しました。木造住宅の耐震基準は昭和56年に新耐震として強化され、平成12年には阪神・淡路大震災の教訓に基づいて見直されています。熊本地震では、平成12年以降の木造住宅の被害割合が低かったことに比べ、昭和56年6月以降平成12年までの住宅では相応の被害があったことから「新耐震」に合致する住宅も耐震診断等が必要と考えられます。大規模な土砂崩れは地域を孤立させましたが共助と地元消防団の重要性を再認識させてくれ、火災は1回目の揺れで多くの方がブレーカーを落とすなどで抑制されました。新たな課題を見つけるとともに、これまでの取組が間違っていなかったことも確認できたと感じています。

全体をまとめると、

- ①自助の備えは後悔のないよう、可能な範囲で真剣に実践する
  - ②自分や家族が怪我などしたら次に進めないことを認識する
  - ③大規模災害を教訓に、その都度、備えを点検する
  - ④新たな知見が整理され具体的な方策を待たず、今やれることは今やっておく
- ということになります。皆様の自助の充実を重ねてお願いします。

## ロータリーニュース

### 『砂漠を緑に』

砂防ダムが農家の収入を増やし、若者の流出に変化をもたらす

少し前まで、ラジャスタン州（インド）のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。降雨量が不安定なため農業用水が不足し、家族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。

「244メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった」と、村の老人ゴバーダンさんは言います。「灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へ行ってしまいました」

今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。

農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。

「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。

## 貯水池

Rotary India Water Conservation Trust (ロータリー・インド水保全トラスト) は、PHD農村開発財団と協力し、2005年から2017年の間に82の砂防ダムを建設。これによって、250,000人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。この活動では、ロータリー財団管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシル・グプタ氏が中心となってプログラムを推進しました。侵食を防ぐダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートルです。その集水域は3~7キロに渡ります。

近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約6~8カ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち20カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。

ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。

「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜(オクラ・トマト・緑の唐辛子など)が収穫できます。井戸の水位も2.4メートルほど高くなりました」

「砂防ダムのおかげで水を手に入れ、農地が劇的に拡大し、収入も激増した」と話すのは、PHD財団のCEO、アツル・リシさんです。

「収入が100~200倍になった農家もある」と、ムクテイ・ナレイン・ラルさんは話します。

「藁葺き屋根の家が良い素材でできたブカハウスに変わり、ラクダが牛に変わり、畑を耕すトラクターもあります」

ゴバーダンさんの家に集まった農夫の一人によると、仕事を求めて都会に出た5人の息子が皆、村に戻ってきたそうです。水は豊富にあり、穀物も沢山とれる。資金を貯めて最近、約8,000ドル(約88万8千円)のトラクターを購入したそうです。

砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。また、それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。

「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元のIndraprastha-0khlaロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。「緑があることから分かるように、砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるようになるほどの水を得ることができました」

## 国境を越えてつながる

2014年11月、デブさんは、Brumath-Truchtersheim-Kochersbergロータリークラブ(フランス)元会長のフィリペ・ダンゲルサーさんと一緒に、完成した砂防ダムの落成式と、新たにダム建設の起工式に出席しました。

ダンゲルサーさんは、年に2回、フランスやドイツのロータリークラブからの寄付金をもってインドを訪れます。これまでに24件のダム建設に資金を投じました。今回は3万ユーロ(約355万円)で、4~5つのダムを作る予定です。ダム一つのコストは12,000ドル(約133万円)で、これに地元の有志が集めた資金が加わります。

ダンゲルサーさんとインドのつながりは、シカゴで行われた2005年ロータリー国際大会に遡ります。第3010地区(現在の第3011地区)のバスターガバナー、ランジャン・ディングラ氏がダンゲルサーさんをインドに招待したのです。その後ダンゲルサーさんは、ある農夫から「神が私たちを誕生させ、彼が私たちに命をくれた」と言われるほど熱心な協力者となりました。

これらのダム建設プロジェクトでは、今日までに、ロシアや米国のロータリークラブのほか、教会からも寄付金が寄せられています。

ロータリーニュース

## 第一回クラブ協議会開催

9月22日(金)例会終了後に、相沢ガバナー補佐にご同席頂き、第一回クラブ協議会を開催致しました。

各委員会より今年度の活動予定と現在までの進捗状況の報告が行われ、ガバナー補佐よりご指導を頂きました。



## 我が街「神奈川」散策(第6回)

クラブ会報委員会

### ■神明宮

江戸時代の神明宮は能満寺と同一境内地にありましたが、明治初めの神仏分離令により分かれられました。かつて境内を流れていた上無川に牛頭天王の御神体が現われ、洲崎大神およびこの神社に牛頭天王を祀ったとの伝承もあります。

## 次回〈10月6日〉の予定

テーマ「第108回国際ロータリー年次大会2017

アトランタ大会参加の報告」

矢野 修二 会員